



「新しい春です。何かはじめないと・・・」

春です。今年は少し遅い春だったのではないのでしょうか？桜の開花が待ち遠しい春でした。それでもやっぱり今年もちゃんと桜は咲いて春はやってきてくれます。桜の淡いピンク色の花が町を染める頃になると、新入生や新社会人のみなさんもよくみかけるようになります。体より大きなランドセルに交通安全という黄色のカバーがついている小学1年生達、ぶかぶかの制服が斜めにずれているところがまたかわいいですね。新入生を見るとやっぱり微笑ましく感じますし、着慣れないスーツにちょっとまがっているネクタイをしめて真新しい靴にまだ汚れていないビジネスバックを手に歩いている人とすれちがうと「おっ頑張れ」と思うのです。今年も何人かの新社会人の方にお会いしましたが、単純に「いいもんだなあー初々しいなあー」と思います。私のようにフリーで仕事をしていると仕事の関係でお話を伺ったり、仕事仲間としての新人さんと接することはあっても、実際に自分の後輩にあたる新入社員という存在の方がいないという状態が続いていますので、この時期「新入社員」という響きに新鮮さを感じます。そう春の「旬」的存在です。

「新しい」とつくものにはそれだけで大きな魅力と期待があり、常に人は『新しいもの』を求めているという傾向もあるのです。新鮮な野菜や果物などは特に重宝され

ます。賞味期限はその最たるものです。私は必ずといっていいほど賞味期限を確認して買い物をします。できるなら新しいものを買いたいと思うからです。棚の一番奥にある商品をぐっぐっと引き出すのは当たり前。(お店の方には申し訳ないのですが)食べ物によって「2～3日後がおいしいですよとか、時間をおいて食べてください」などと教えていただくと「へえー」ちょっと驚いてしまうこともあります。洋服だってそうです。似たような色をもっているはずなのに「春の新商品」というポップにふらふら足が向き、「よくお似合いですよ」という店員さんの言葉を間うけて「じゃあこれお願いします！」という意思の弱さではありますが、やはり「新しいもの」は魅力的です。

仕事面でも常に「新」というものは必要です。新しい企画、新しいコーナー、新しい音楽などなど番組内容にも新鮮さがないとあきらまれてしまうという危機感は常にもっていますし、どこかなにかに新しいチャレンジがないといけないということもよくわかっています。「新しい」ということはプラス面も多ですが、不安や嫌悪感もでてくるもので、新しい事をするのは楽しい反面、苦痛に思うこともあります。十数年前には「新人類」と言われる若者の存在がクローズアップされたように、常識とかが

つもちゃんの

ドク
バタ
ラジオ日記

ままでのやり方や考え方と違う新しい存在はつかみどころがなく、理解できないということもありますよね。今年の顔ともいえるホリエモンこと堀江貴文社長もその一人。彼はまさしく「21世紀の新人類」その登場の仕方もビジネスもニューススタイルでした。最近も新入社員に対する質問も・・・「うちでは中途採用ばかりですから。入社式なんていうのありませんよ」とサラリ。新しいやり方だからこそ話題にもなるのでしょうか。数々の語録的発言ももしかすると今年の流

行語大賞なんてことにもなりかねません。ホリエモンというニックネームも21世紀風??といえそうですでしょうか?それが定着したこともすごいことだとは思います。

この春も新しい動きはたくさんあります。新しい出来事を『渦』とみるか『風』とみるか。渦に巻き込まれるのではなく、追い風とうけとって軽やかに舞っていければと思うのです。そのためにはまず身も心もダイエットせねば・・・新しい季節、気をひきしめて頑張りたいと思います。

お す す め 取材日記

「華らんや」

善通寺市にある蘭のお店「華らんや」におじゃましました。

太陽がサンサンとふりそそぐ蘭のハウスの中で華を眺めながらゆっくりとくつろげます。たった1輪のカトレアの花からはじまったという「華らんや」。

現在では11棟のハウスの中に様々な種類の蘭の花が育っています。隣接するカフェコーナーではランチなどもいただけます。ランチはカロリー、塩分を計算されていますよ!

<住所>香川県善通寺市生野町1743番地 <電話>0877-63-3878



蘭もたくさん咲いていました



カフェコーナー



ランチは日替わりで500円